

(代表質問)

質問日	令和 7 年 12 月 4 日 (木)			質問方式	分割方式		
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	19	氏名	井田 博康
表題	質問内容						答弁者の職名
1 物価高騰に対する本市の対応について	<p>国の「責任ある積極財政」を掲げる対策が幅広く展開される中で、地域の実情を最も把握しているのは地方自治体であり、本市としても国の施策を踏まえつつ、独自の対策を主体的に打ち出す姿勢が求められると考える。</p> <p>本市においても、物価高の長期化に伴い、中小企業・小規模事業者における原材料費・エネルギー費・人件費の上昇、子育て世帯や高齢者世帯の生活不安の拡大など、複合的な影響が顕著化している。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 国の経済対策を踏まえ、本市が直面する課題のうち、どの分野を最優先課題として位置付けるのか、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 物価高騰重点支援交付金の拡充が検討される中、機動的に対応するためには、本市として事前の準備が不可欠である。この点を踏まえ、本市が検討している具体的な経済対策の方向性を伺う。</p>						中野市長
2 地方創生に関する若者座談会について	<p>本年 3 月に策定された「浜松市地方創生総合戦略」では、少子化と若年層の人口流出が本市の持続可能性を脅かす要因として示されている。こうした中、「地方創生に関する若者座談会」や「2025 大学生未来 VISION」が開催され、大学生から浜松の魅力発信、体験機会の提供など、具体的な意見があった。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 「ターゲットを絞って浜松の魅力を効果的に発信することが必要である」との意見に対しての見解を伺う。</p> <p>(2) 「浜松に住む魅力を体験できる機会が重要である」という意見があった。浜松の魅力を体験し、大学生同士が交流を深める機会に対して、市として支援する考えは無いか伺う。</p>						中野市長
3 中心市街地の活性化について	<p>市長は令和 7 年度施政方針において、中心市街地を「商業、オフィス、住居等の都市機能が集積する、まちの顔」と位置付け、その活性化を都市のにぎわい創出に不可欠と明言された。また、本年 10 月 17 日の決算審査特別委員会においては、民間投資促進に向けた補助・融資制度や容積率緩和制度の検討、さらには庁内横断的な連携の必要性について答弁がなされた。加えて、「まちなか文化祭」が昨年より始まった。</p> <p>これらを踏まえ、中心市街地の課題と今後の方向性に</p>						

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表題	質問内容	答弁者の職名
	<p>について、以下伺う。</p> <p>(1) 中心市街地の将来像に直結する課題について、市長はどのように認識され、どのような対策を講じようとしているのか伺う。</p> <p>(2) 老朽化建物への対応と補助・融資制度について、どのような策を講じ建物の更新につなげていくのか伺う。</p> <p>(3) 「まちなか文化祭」の参加状況と実績をどのように評価し、年間を通した取り組みを考えているのか伺う。</p>	中野市長 北嶋産業部長 〃
4 中山間地域の持続可能な発展について	<p>本市の中山間地域は、豊かな自然と歴史に彩られた本市の原風景である。</p> <p>観光面では、映画やドラマのロケ地・モデル地を活用した「聖地巡礼」による誘客が期待され、新たな仕事に結び付けるべきであると考える。産業面では阿藏山産業用地の整備が進められ関係人口の増加が見込まれる。林業面では天竜材をはじめとする森林資源の活用が重要な課題となっている。</p> <p>中山間地域は観光・産業・林業の三位一体によって未来を切り拓く力を有しており戦略的な取り組みが求められる。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 聖地巡礼などによる観光誘客の推進について伺う。</p> <p>(2) 関係人口の増加による地域の活性化に向けた取り組みをどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 林業の振興と天竜材の新たなブランド価値創出への取り組みについて、どのように考えているのか伺う。</p>	中村観光・ブランド振興担当部長 仲井天竜区長 下位農林水産担当部長
5 安全・安心なくらしへの取り組みについて	<p>近年、全国各地で豪雨による災害が頻繁に起きている。本市においても大きな浸水被害がたて続けに発生しており、昨年3月に浜松市総合雨水対策計画の見直しを行い、令和7年度施政方針の中で「雨水貯留施設の整備などを進め、流域のあらゆる関係者の協働による流域治水の取り組みを推進する」としている。現在では、計画に基づき、河川整備や校庭貯留の整備などを推進している。避難所に指定されている学校体育館に関しても手厚い設備投資が必要であると考える。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 浜松市総合雨水対策計画の「水をためる」対策の取り組みの状況について伺う。</p> <p>(2) 避難所に指定されている学校体育館において、断熱性能を高めたうえで空調設備を整える考えは無いか伺う。</p>	平井土木部長 吉積学校教育部長

表題	質問内容	答弁者の職名
6 消防局の災害・救急への対応の取り組みについて	<p>今春は、大船渡市や今治市、岡山市など全国各地で林野火災が多発し住宅の焼損も多くあり、市民生活にも大きな影響を及ぼした。本市でも多くの林野部を抱えているため、対応が必要である。</p> <p>消防ヘリコプター「はまかぜ」の機動力を生かした消防活動は大変有効的であると認識している。消防ヘリコプター「はまかぜ」は、導入から 15 年が経過し、機体の老朽化が懸念され、機体更新に向け、取り組んでいるが、更新の際、操縦士や整備の準備が必要となり、消防ヘリコプター不在の期間の対応も重要である。</p> <p>また、救急自動車の覚知から現場到着平均所要時間は延伸となっており、市民への応急処置開始の遅れが危惧され、対応が重要となる。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 近年の本市における林野火災の発生状況と、発生を未然に防ぐための方策について伺う。</p> <p>(2) 消防ヘリコプター「はまかぜ」の機体更新の進捗状況及び不在期間の対応について伺う。</p> <p>(3) 増加が見込まれる救急需要への対策について伺う。</p>	那須田消防長
7 浜名湖の観光について	<p>本市が未来に向けて歩みを進めるにあたり、その可能性を大きく拓く柱の一つが「観光」である。</p> <p>本市を代表する観光地である館山寺温泉は、長きにわたり多くの来訪者を魅了してきたが、宿泊施設の老朽化や旅行形態の変化が進んでいるため、柔軟な対応のもと持続可能な観光地にしていく必要がある。四季折々の美しい風景は国内外からの来訪者を魅了し、多様な生態系は持続可能な社会のモデルを示し、漁や釣り、マリンスポーツといった体験は、国境を越えて人々を結び付ける力を持っている。本市は、「浜名湖マリンフェスティバル」によるマリンスポーツの体験の機会を設け、また、マリンスポーツの拠点施設の整備も計画している。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 全国に誇る観光資源「浜名湖」を活用した観光振興に対する市長の考え方を伺う。</p> <p>(2) 館山寺温泉を持続可能な観光地としていくための考え方を伺う。</p> <p>(3) 移動自体が旅の楽しみとなる浜名湖ならではの移動手段の可能性について伺う。</p> <p>(4) 「浜名湖マリンフェスティバル」の告知方法や、実績をどのように今後につなげていくのか伺う。</p> <p>(5) 現在進められているマリンスポーツの拠点整備の今後の展開について伺う。</p>	<p>中野市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>杉田スポーツ振興担当部長</p> <p>〃</p>